

ワールドサポーター (愛称)

正式名称：世界銀行債券ファンド（毎月分配型）

ファンドの概要

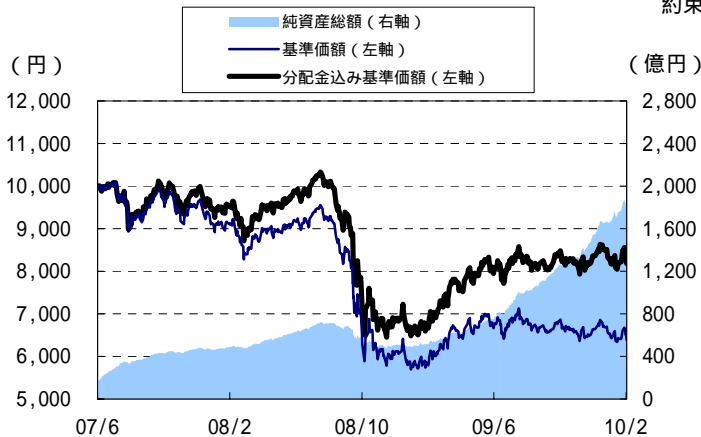
設定日：2007年6月21日 償還日：無期限
 決算日：原則毎月12日 収益分配：決算日毎（第2期以降）

- 【ファンドの特色】
1. 相対的に利回りの高い、新興国通貨建て世界銀行債券に投資します。
 2. 信用力の高い世界銀行が発行する短期債券を中心に組入れます。
 3. 毎月の安定分配をめざしながら、新興国を応援します。

運用実績

このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

< 基準価額の推移 >



分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。基準価額は、信託報酬（年率1.268%（税抜1.223%）程度）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

基準価額：6,382円
 純資産総額：1,806.39億円

< 基準価額の騰落率 >

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
0.18%	2.23%	-0.45%	16.02%	-	-18.17%

基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

< 基準価額騰落の要因分解 >

前月末基準価額	6,430円	
当月お支払いした分配金	-60円	
要因	ブラジルリアル	2円
	人民元	-1円
	コロンビアペソ	9円
	エジプトポンド	-2円
	インドルピー	-3円
	マレーシアリンギット	-1円
	メキシコペソ	4円
	ポーランドズロチ	-19円
	ルーマニアレイ	-22円
	ロシアルーブル	-1円
	南アフリカランド	-22円
	トルコリラ	-38円
	ウクライナフリヴニャ	2円
	ナイジェリアナイラ	-1円
	ガーナセディ	-1円
	ボツワナプラ	-5円
債券・その他	110円	
当月末基準価額	6,382円	

上記の要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。

< 資産構成比率 >

ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA	99.5%
マネー・オープン・マザーファンド	0.1%
その他	0.4%

< 分配金実績（税引前）と決算日の基準価額 >

	設定来合計	直近12期計	09・3・12	09・4・13	09・5・12	09・6・12	09・7・13
分配金	1,860円	720円	60円	60円	60円	60円	60円
基準価額	-	-	6,055円	6,668円	6,746円	6,942円	6,410円
	09・8・12	09・9・14	09・10・13	09・11・12	09・12・14	10・1・12	10・2・12
分配金	60円	60円	60円	60円	60円	60円	60円
基準価額	6,870円	6,563円	6,649円	6,624円	6,469円	6,786円	6,403円

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ワールドサポーター (愛称)

ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスAのポートフォリオの内容

< 外国通貨別構成比 >

ブラジルレアル	14.6%
メキシコペソ	11.3%
トルコリラ	11.0%
ポーランドズロチ	10.2%
コロンビアペソ	9.5%
南アフリカランド	7.9%
ルーマニアレイ	7.8%
ロシアルーブル	6.6%
インドルピー	5.7%
ガーナセディ	2.8%
ナイジェリアナイラ	2.5%
マレーシアリンギット	2.4%
ボツワナブラ	2.0%
エジプトポンド	1.7%
チリペソ	1.5%
アメリカドル	0.9%
ユーロ	0.0%

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

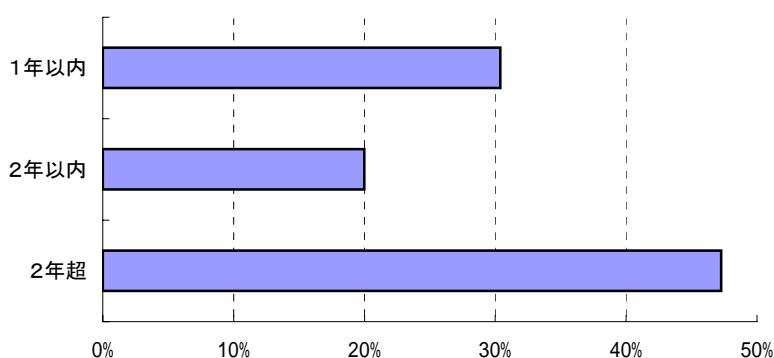
日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドより提供された情報です。

< 格付別構成比 >

Aaa	97.6%
Aa	0.0%
A	0.0%
Baa以下	0.0%
平均格付	Aaa

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
格付はMoody's、S&Pのうち、高い格付を採用しています。

< 残存別構成比 >



比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
変動利付債は次回利払い日までの日数で計算しています。

< 公社債種別構成比 >

世界銀行債券	97.6%
ソブリン債他	0.0%

比率は当外国投資信託の純資産総額比です。
ソブリン債は国債、政府機関債、政府保証債、国際機関債などです。

< ポートフォリオの特性値 >

ポートフォリオの最終利回り	6.31%
ポートフォリオの平均残存日数	1.61年
組入債券の銘柄数	47銘柄

最終利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものです。
最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。
将来得られる期待利回りを示すものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

ワールドサポーター (愛称)

運用コメント

市場環境

【ブラジル】ブラジルレアルは円に対して上昇しました。過去数ヶ月間での大幅な下落の一部を取り戻した格好です。経済指標は引き続き力強い回復を示唆しており、12月の小売売上高は前年同月比で大きく増加しました。

【メキシコ】第4四半期のGDPデータが予想を上回るものだったことを受け、メキシコペソは円に対して上昇しました。12月の小売売上高が伸び、第4四半期の経済成長率は前四半期に比べ増加しました。

【トルコ】トルコリラは円に対して下落しました。ギリシャの問題から大きく影響を受けたことに加え、2003年にクーデター計画に關与した容疑で、政府が多くの元軍人を逮捕したトルコ国内の政治事件も影響しています。

【ポーランド】ヨーロッパ市場が全般的にギリシャの財政問題から大きく影響を受け、ポーランドズロチは円に対して下落しました。1月の小売売上高は前年同月比低下しましたが、鉱工業生産は前年同期比で上向きしました。

【コロンビア】憲法裁判所が、ウリベ大統領の三選を可能にしてはならないとの判断を下し、コロンビアペソは円に対して上昇しました。ウリベ大統領が国内外から支持されているとはいえ、コロンビアが民主主義憲法における規定を遵守する姿勢を示したという意味で、この結果は前向きに受け止められています。

【南アフリカ】全般的に経済データが好ましかったにもかかわらず、ランドは円に対して下落しました。12月の製造業生産は前年同月比増加し、第4四半期のGDPデータは、予想を上回りました。

【ルーマニア】ルーマニアレイは円に対して下落しました。ギリシャの問題で欧州市場が全般的に手痛い打撃を受けたことが響きました。また、第4四半期のGDP統計も予想を下回り、小売売上高も12月に急減しました。インフレ率は前年同月比で上昇しましたが、中央銀行は当月、政策金利を7.5%から7%に引き下げています。

【ロシア】ロシアルーブルは円に対して若干下落しました。鉱工業生産が力強く回復しつつあり、中央銀行はルーブル高によるインフレの緩和を引き続き試みっていますが、その一方で政策金利を8.75%から8.50%に引き下げました。

【インド】インドルピーは円に対して下落しました。国内経済の規模が大きいことから引き続きインドは世界経済の影響を受けず、2010年には大きな成長が期待されています。

【ガーナ】ガーナセディは円に対して僅かに下落しました。当月中央銀行は金利を2%引き下げ、16%としました。

【ナイジェリア】ナイラは円に対して僅かながら下落しました。

【マレーシア】第4四半期GDPは予想を上回る伸びを記録したにもかかわらず、リングgitは円に対して下落しました。

【ボツワナ】ブラは円に対して下落しました。

【エジプト】エジプトポンドは円に対して下落しました。

【チリ】チリペソは円に対して下落しましたが、経済見通しは急速に改善し始め、2010年には成長を取り戻すと見られます。先日発生した大地震は、短期的には経済成長に悪影響を及ぼすでしょう。中央銀行の利上げを遅らせることにもなりそうです。しかし、当面は復興事業が経済成長を押し上げる可能性があります。インフラの修復に乗り出せば歳出が膨らむでしょうが、銅鉱石の輸出によって政府系ファンドに積み上げられてきた資産が取り崩されて使われるかもしれません。この資産は米ドル建てですので、これを本国に送金するとなればペソのレートが下支えされるでしょう。また銅が値上がりしてきたことや、銅鉱石の生産が非常に迅速に再開されたことも、チリの経済成長と財政にとって支援材料になるでしょう。

運用概況

当月は円が殆どの通貨に対して上昇しましたが、債券価格が上昇したため、当月のファンドリターンはわずかなプラスとなりました。月中にウクライナを売却し、利益を確定しました。これは、今後の政治状況が不透明なことを背景に、通貨下落リスクがあると見た為です。加えて、中国に対する投資も売却しましたが、利回りの低下を受け利益を得ています。そして力強い成長見通しが通貨の上昇につながると見て、当月チリを再びファンドに加えしました。

今後の見通し

2月は、ギリシャの財政問題に対する懸念に端を発し、市場の焦点は、ユーロ圏全体への懸念へと移りました。ギリシャ問題は、多くの国が景気浮揚策の実施にあたって多額の債務を作り、財政赤字を累積させたことを浮き彫りにしています。

しかし、全般的に高金利通貨国や新興国の強い成長力はこれまで各国の財政を支えて来ており、このことはやがてファンド全体の利回り向上となりファンドを構成する通貨の上昇にもつながりましょう。

当ファンドでは最大の投資比率を占め、強い経済見通しと高い実質金利が今後通貨上昇につながると見られるブラジルへの投資の継続を検討します。引き続きトルコ、メキシコ及びポーランドは高い組入比率を維持することを検討します。2010年に経済成長が回復するとこれらの通貨の上昇が見込まれる為です。アフリカ諸国の通貨に対する投資も積み増しています。アフリカは、まだ投資家に余り開拓されていない地域で、高利回り魅力的なファンダメンタルズを提供しています。この地域では引き続き新規の投資対象を検討していきます。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みメモ

- 商品分類 : 追加型投信 / 海外 / 債券
 お申込単位 : お申込単位につきましては、販売会社ないしは委託会社の照会先にお問い合わせください。
 お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
 お申込不可日 : 取得申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 信託期間 : 無期限（2007年6月21日設定）
 決算日 : 毎月12日（休業日の場合は翌営業日）
 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が決定するものとし、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。なお、分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
 ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
 ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
 ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。課税上は、株式投資信託として取り扱われます。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

手数料等の概要

- ・お客様には、以下の費用をご負担いただきます。
 < お申込時、ご換金時にご負担いただく費用 >
 ・ お申込手数料 : お申込手数料率は、3.15%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める率とします。分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、お申込手数料はかかりません。
 ・ 換金手数料 : ありません。
 ・ 信託財産留保額 : ありません。
 < 信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用 >
 ・ 信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.268%（税抜1.223%）程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率〔年率0.945%（税抜0.90%）〕、投資対象となるケイマン籍円建外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の組入れに係る信託報酬率〔年率0.323%程度〕となります。このうち、当該外国投資信託の信託報酬率は、純資産総額や為替相場によって変動します。それに伴ない、実質的な信託報酬率も変動します。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。
 ・ その他費用 : 組入る有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
 その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様が発金を保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
 受託会社 : NCT 信託銀行株式会社
 販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。
 日興アセットマネジメント株式会社
 【ホームページ】 <http://www.nikkoam.com/>
 【コールセンター】 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

お申込みに際しての留意事項

リスク情報

- ・ 当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に債券など値動きのある証券（外貨建証券は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。特に投資する新興国通貨建ての債券は、新興国の通貨の為替変動に影響を受けます。新興国の通貨は、為替変動が大きくなる場合があります。基準価額にも影響を与えることがあります。したがって、元金を割り込むことがあります。
- ・ 投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【為替変動リスク】

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。新興国通貨建ての債券は、新興国の通貨の為替変動に影響を受けます。新興国の通貨は、為替変動が大きくなる場合があります。

【カントリー・リスク】

投資対象となる債券は新興国通貨建てで起債されたものであるため、新興国における非常事態など（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針にしたがった運用ができない場合があります。情報の開示などの基準が先進国とは異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。

【価格変動リスク】

一般に公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動は、残存期間・発行条件などによりばらつきがあります。

【流動性リスク】

市場の混乱などにより市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスクがあります。新興国の通貨は、市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まることがあります。

【信用リスク】

一般に公社債の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）するリスクがあります。

ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

その他の留意事項

- ・当資料は、日興アセットマネジメントが「世界銀行債券ファンド（毎月分配型）/愛称：ワールドサポーター」の投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書（交付目論見書）などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：（社）投資信託協会
（社）日本証券投資顧問業協会

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会		
		日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
株式会社青森銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第1号		
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号		
S M B Cフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号		
株式会社S B I証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号		
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号		
オーストラリア・アンド・ ニュージーランド・バンキング・ グループ・リミテッド(銀行)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第622号		
オリックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第55号		
かざか証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第58号		
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号		
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号		
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号		
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号		
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号		
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号		
株式会社泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第12号		
株式会社第四銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号		
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号		
中央証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号		
株式会社東京都民銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第37号		
株式会社徳島銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号		
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号		
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号		
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号		
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号		
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号		
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号		
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号		
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号		
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号		
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号		
株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第10号		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号		
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号		